

(課題名) 冷温水刺激を用いためまい発作抑制 について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

あなたは、急性めまい発作時に自発眼振を生じていると診断されています。自発眼振は内耳機能の左右差が生じている場合に現れ、めまいが治まるとなくなります。

めまいの原因を調べる際には、外耳道を冷温水で刺激して、わざとめまいを起こす検査を行う場合がありますが、これを今起こっているめまいを打ち消すように用いることで、治療に応用することができます。

本研究では外耳道に冷温水刺激を行うことで、平衡機能の検査と治療を同時に行い、めまい抑制効果がどの程度得られるかを確認します。そのことによって、より効果的な治療方法の開発するための手がかりを得ることを目的としています。

【対象】

本研究は、急性めまい発作時に自発眼振を生じている患者さんを対象に行います。

【調査項目】

冷温水刺激および投薬などの保存的治療を開始すると同時に、毎日のめまい発作の状況を記録していただきます。保存的治療開始以降、平衡機能検査や聴力検査を定期的に行います。病院へは治療開始日、以降は月 1-2 回程度来院していただきます。来院時は担当の医師に「月間症状日誌」を渡し、新しい「月間症状日誌」をお受け取りください。また、問診・平衡機能検査・聴力検査を行いません。

研究参加中は基本的に治療を継続しますが、症状が寛解した場合は保存的治療を中止し、経過観察のみを行うことになります。

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【研究期間】

承認日から 2025 年 3 月 31 日

(調査状況により調査期間を延長する可能性があります)

【研究機関・組織】

研究責任者

山戸 章行 耳鼻咽喉科

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 耳鼻咽喉科

〒564-8567 吹田市岸部新町 5 番 7 号

TEL : 06-6387-3311 (代表)

FAX : 06-6380-5825 (代表)